

仕様書

スマートコミュニティ・エネルギーシステム部 蓄電技術開発室

1. 件名

2023年度「次世代蓄電池分野に係る政策・技術開発動向調査」

2. 目的

蓄電池は電動車の本格普及において核となるキーテクノロジーであると同時に、今後、大きな市場拡大が想定される成長産業分野である。日本では、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の蓄電池技術開発プロジェクトをはじめとして、全固体リチウムイオン電池および革新型蓄電池の技術開発において着実に成果を上げてきている。一方、中国・韓国をはじめとした諸外国の追い上げは凄まじく、次世代蓄電池の社会実装を早急に進めるうえで、国内外の蓄電池分野に係る技術開発・政策の最新動向を常に把握することが必要である。そのため、本調査では日本国内、および中国・韓国・米国等をはじめとした諸外国における蓄電池技術・政策を定点的に情報収集し、蓄電池分野における NEDO プロジェクトの個別テーマ課題・目標設定、リソース配分、知財戦略の検討などの研究開発マネジメントや新規プロジェクトの企画立案に活用するものとする。

3. 内容

次世代蓄電池の早期実用化を目指した研究開発プロジェクトマネジメントの基礎資料として活用するため、蓄電池分野に係る以下の情報収集・文献調査を行う。なお、調査対象国としては日本国内、中国、韓国、米国、欧州を基本とし別途 NEDO から支給するフォーマットに記入すること。

- (1) 関連する最新の各種政策・標準化・規制動向・市場動向（将来予測も含む）
- (2) 各国の国家プロジェクトにおける研究開発動向
- (3) 主要な企業（自動車 OEM、電池メーカー等）
における研究開発・量産計画
- (4) 主要な研究機関・大学等における研究開発動向
- (5) 上記を踏まえた、NEDO 事業を含む各国開発目標値・スケジュールの比較

なお、調査対象技術の想定は、現状主流の液系リチウムイオン電池（LIB）、次世代電池として位置付けられる全固体 LIB、及び LIB とは原理的に異なる革新型蓄電池等の二次電池を中心とした蓄電技術、およびそれらのリユース・リサイクル技術とする。車載用蓄電池に限らず、フロー電池やフライホイール等の定置用蓄電技術も対象とする。前述の内容を参考に事業者が調査対象技術を提案することとし、具体的な対象技術範囲については採択決定後、NEDO と協議の上決定するものとする。また、日本における上記調査項目の現状については、本調査において必要と認めるものについては NEDO が保有する情報を可能な範囲で提供するものとする。

上記目的達成に向け、情報を補完するための調査対象国等の対象及び調査項目の追加等を実

施することは妨げない。その他、NEDO から要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映する。

以上の実施内容について、調査結果を定期的にアーカイブ化し、NEDO 担当者に対し対面、オンライン又はメール等により実質的な調査を開始したタイミングから、ひと月に1～2回程度を目安として進捗報告を行う。

4. 実施期間

NEDO が指定する日から 2024 年 3 月 31 日まで

5. 予算額

1,000 万円以内

6. 報告書

提出期限：2024 年 3 月 31 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

補記事項：作成物、成果物の著作権、所有権等は NEDO に帰属する。

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会等における報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に定め無き事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。

以 上